

祭典部

此の御神殿の大神座に 大神光弥高々と神鎮まり坐す 掛けまくも綾に畏き
大光明真神の宇豆の大前に 斎主 恐み恐みも白さく

去にし西暦一九三一年・仏歴二四七四年の六月十五日といふ日はしも 畏かれ
ども 真神より我が教御祖が御直々に 霊界の奥深くに始まり来たりし夜 昼
転換るといふ 神秘なる天津御啓示いただきて やがて来たらむ大光明の

聖代 世界の黎明にさきがけて御先導つとめむと 御自ら世開きの道の正道一
筋に踏み出で給ひける 甚も尊き意義深き聖き記念の佳日にしあれば 今日
吉日に 数多の信徒等はうち揃ひて 大前真近く参来集ひ 地上天国祭の

御祭典を 畏かれども真神の大御名称えまつり 救世の大神業を弥高らかに
讃えまつりて 諸共に心の底より 拝みまつり祝いまつるとともに 我等諸々
現代といふ千載一遇きの神機に 地上天国建設の 尊き神業の先達を仰せつ
かりし其が上は 教御祖に神習ひて 御用奉仕に愈々益々力を協せ 身もたな
知らに勤しみ励み 尊き神の御依に応へ参らせ奉らむと 今日此の日に 覚
悟も新たに誓約ひまつり祈願ぎまつらくを 平らけく安らけく神諾ひ聞こしめ
し給ひて 今ゆ行先弥益々に 高き尊き大神寵を蒙らしめ給ひて 信徒等只の
一人も漏れ落ちず 足並揃へて芽出度くも めざす光明の理想郷へと 到りつ
かしめ給へと 恐み恐みも乞祈み奉らくと白す

※ブラジル・タイは全文を、他の海外教会は「掛けまくも」から、暦は適当と
思われる方を選んで奏上して下さい。

